

## 強み

- 山川海の豊かな自然環境：山川海がすべてそろったフィールド  
黒尊溪谷、四万十川、土佐西南大規模公園 など
- 優れた農林水産物と「食」：多様な農産物（米、多様な園芸作物）  
全国有数の森林資源（ヒノキ）  
ブランド力のある水産資源  
（あゆ、うなぎ、えび、アオノリなど）  
飲食店数（人口千人あたり）が突出
- 歴史・文化：小京都中村、史跡・文化財、重要文化的景観、偉人
- 全国的な知名度：四万十川、ドラマ「運送きのヒマワリ」、暑さ日本一 など

## 弱み

- 人口減少：少子・高齢化、生産年齢人口の減少、市内市場の縮小、生産性の低下
- 地理的、地形的ハンディ：大消費地から遠い、中山間地域が多い
- 生産基盤が脆弱：小規模・零細事業者が多く経営基盤が弱い  
製造業分野の産業集積が低く、製造品出荷額が少ない
- 素材のまま販売：一次産品など素材のまま販売、商品加工力やPR・販売力が弱い、「通過型」の観光、観光ツアー

## 機会(チャンス)

- 環境、安全・安心、健康の時代  
：防災・環境や省エネ・再生可能エネルギーへの関心の高まり  
食の安全・安心志向、健康志向  
日本の食文化への関心の高まり
- 自然回帰志向：自然の中での「交流、体験」への観光ニーズの高まり  
「いなか暮らし」、「スローライフ」への関心の高まり  
移住希望者の増、農林水産業への関心の高まり
- 情報化社会：人・物・情報の交流が飛躍的に進展  
地方でも必要な情報を必要ときに発信・収集
- 大学・金融機関の地域貢献：専門的な支援、人材育成など

## 脅威

- 不透明な経済情勢：原油価格や資源価格の高騰、景気の不安定感
- 自由貿易の拡大：貿易自由化による影響
- 地域間競争の激化：市場の奪い合い、差別化と集客力・販売力

### 「強み」と「機会」を活かしていく方向性

- 優れた農林水産物の生産力の維持・強化（産地化）、ブランド化
- 環境やさしく、安全・安心な農林水産物の供給促進
- 一次産品の特色を活かした商品開発と販売促進（6次産業化）
- 「食」の磨き上げと発信
- 自然環境を背景にしたサテライトオフィスなどの企業誘致
- 地域資源（自然、一次産品、食、歴史・文化など）を活かし、市全域をフィールドとした面的に広がりのある観光地
- 「産・官・学・金・労・言」が連携した産業の新たな展開

など

### 「機会」を活かして「弱み」を克服する方向性

- 地産地消の促進
- 食品加工や木材・木製品加工などの促進による製造業の底上げ
- 防災対策による建設事業費の確保
- 地域資源（自然、一次産品、食、歴史・文化など）を活かした滞在型、通年型の観光地づくり
- 中山間地域の特性を活かした産業づくりと一次産業の担い手確保対策の促進
- 移住（Uターン）促進による担い手、人材の確保、地域経済の活性化
- ITを活用した情報発信、販売力の強化
- 「産・官・学・金・労・言」が連携した技術力・経営基盤の強化と人材育成

など

### 「強み」を活かし、弱みを認識して「脅威」に対抗する方向性

- 全国的な知名度を活かした集客・販売の強化
- 1次から3次までの多様な地場産業の交流、観光を切り口とした連携の強化
- 情報発信力と販売（外商）力の強化

など

### 基本戦略①

足腰を強め、地力を高める

### 基本戦略②

産業間の連携を強化する

### 基本戦略③

情報発信と外商の強化

### 基本戦略④

産業の担い手、人材の確保・育成

### 戦略の加速化

- 計画推進体制と支援策の強化
- 県産振計画との連携と協働
- 「産・官・学・金・労・言」の連携
- 移住促進による活性化

地域資源を活かした産業の力みなぎる四万十市